Ⅰ．中期ビジョンと 2011 年度の方針

１．はじめに

2011 年度は、当法人が活動を始めて 10 年（2001 年 10 月）の節目の年（法人設立は 2002 年６月）にあたります。過去の総括と次なる 10 年への準備の年と位置づけ、法人理念の達成に向けて邁進する年とします。

2011 年度を迎えるにあたり、運営スタッフにより、「３年後のシーズ加古川」のビジョンを策定しました。このビジョンを基本に据え、地域に密着し、地域から信頼され、必要とされる法人を目指します。

２．中期ビジョン

NPO 法が施行されて 11 年が経過した今、NPO 法や寄付税制の改正が国会で議論され、徐々に法制度が整備されつつあります。昨年７月には「NPO 法人会計基準」が策定され、NPO 法人の情報公開に関するツールもまたひとつ整いました。非営利セクターの真価が問われる時代が来たと言えます。

しかしながら、制度整備は進んでもまだまだその基盤は脆弱で、社会からの期待が増せば増すほど、我々中間支援組織の果たすべき役割が大きくなると考えます。

「３年後のシーズ加古川」を中期ビジョンとし、2011 年～2013 年の重点項目とします。

① 「自分らしい生き方」デザインのプログラム開発（「市民創造型」キャリアデザインのプログラム化）

自律したエンパワーメントを持ったひとづくりのためには、自分自身がどのような生き方をしていきたいのか、自分の目指したい生き方のために、どのような行動を取って行くのかについての具体的なプランが必要である。そのために、「夢をカタチにするシート」を開発し、生きていく上での自己の将来像の設計図作りをサポートし、シーズ加古川独自のプログラムとして商品化する。

② スタッフの講師としてのスキルアップ大作戦（「自己研鑽型」講師創造事業の推進）

中間支援組織として取得しなければならないスキルをベースに徹底研修し、職員のスキルアップを加速させる。ベースとなるファシリテーション力、広報力、企画力、表現力等の全職員向け強化メニューを実施しつつ、その中で、講師として通用する物を見出し、磨きをかける。

③ ボランティアが参画する仕組みの強化（「市民協働型」ボランティアの支え事業の推進）

阪神・淡路大震災をきっかけとなり、ボランティア活動が芽生えた。今、東日本大震災がきっかけとなり、ボランティア活動が活発化している。ボランティア活動や市民活動等のシチズンシップ溢れるさまざまな活動がより活性化し、市民の想いを具現化する仕組み作りに取り組む。とりわけ、当法人としての活動とボランティアとのWin - Winな関係作りを推し進める。

④ まちづくりの仕掛け構築（「市民参加型」プロデュース事業の構築）

市民自らが自発的に参画し、当事者意識を持ってまちづくりに関わることができるまちづくりプログラムを新たに開発する。

⑤ 多様な市民活動へのコーディネート力強化（「市民主体型」コーディネート事業の強化）

市民が当事者意識を持って自発的に行っている活動の効果がさらに増すよう、また市民同士のつながりが広がることでより事業が充実するよう、さまざまな市民活動をコーディネートする。

Ⅱ．2011 年度事業計画

How ―第 10 期に向けて―

本年度事業を行う中で、「What（何を）」ではなく、「How（どのように）」に力点をおいた企画・運営に努める。「誰に（誰と）何をどのようにするのか」「誰をどのようにするのか」「何をどのように変えるのか」等は、中間支援組織として大切なポイントであるとの認識に立ち、最終的な事業になるまでのプロセスを大切にしながら、中間支援組織としてのノウハウを蓄積する。

１．まちづくりチーム

① 東播磨生活創造センター「かこむ」の運営事業（指定管理事業）
東播磨生活創造センター「かこむ」指定管理３年目として、事業一つひとつの内容を精査し、さらなる充実を図る。住民自治意識の醸成を目的とした市民参加型の施設運営のあり方を模索していく。

② 東日本大震災支援事業
「被災地を応援する加古川市民ネットワーク」の事務局として、加古川市民の「想い」を現地へつなぐコーディネートを行う。また、岩手県を中心とした現地で支援活動を行う団体にノウハウ等を提供し、後方支援していく。

③ ふるさとコミュニティ・ビジネス創出支援事業～淡路～（兵庫県委託事業）
淡路地域において様々な人や団体と関わりながら、コミュニティ・ビジネスの芽をはぐくみ、地域の活性化を支援する。

④ 政策提言事業
様々な制度に関してアドボカシーを行う。

⑤ 情報収集・発信事業
地元コミュニティFMとの連携事業や各ショッピングモールでの団体情報の発信事業を昨年度に引き続き行うとともに、新しい連携先企業を開拓する。

２．ひとづくりチーム

① 生きがいしごとサポートセンター播磨東の運営事業（兵庫県補助事業）
昨年度実施したコミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの就職転職フェアを年２回から３回へ増やし、中身の充実を図る。また、コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスに特化したインターンシップから就職マッチングへつなげる体験型職業紹介事業を行っていく。

② 若者しごと倶楽部サテライト播磨の運営事業（兵庫県委託事業）
相談者が自分のこれからの生き方をデザインできるよう、昨年度開発した「夢をカタチにするシート」等を活用するシーズ加古川版「キャリアデザイン」プログラムを確立させ、相談業務の充実を図る。

③ 出張講師事業

他機関からの要請によって、役員及び職員を講師として積極的に派遣し、役員及び職員の講師としてのスキルアップを図る。

④ コンサルティング事業

NPO法人やコミュニティ・ビジネス事業者等に対して、マネジメント支援を行う。

3．総務部門

① 認定 NPO 法人格取得に向けた研究

認定NPO法人格取得に向けて、制度等の研究を行う。

② 会員の拡大

会員拡大への取り組みを積極的に行う。

③ 理事会の再編

昨年度の運営理事会及び全体理事会の体制を改め、理事会１本化の体制を取る。

Ⅰ．組織体制 （2011 年 6 月 13 日現在）

1．役員

役　名	氏　名
理事長	田中　茂
副理事長	香川　憲夫
副理事長	衣笠　仁浩
理事	神田　信弘
理事	川端　建一郎
理事	田代　恭也
理事	中村　義弘
理事	堀田　照夫
理事	柏木　登起
理事	王　　茂厚
監事	高橋　逸
監事	吉田　正巳
相談役	根本　敏行
相談役	船本　博一
顧問	落合　英樹
顧問	高田　良彦
顧問	市位　壽宏
顧問	増田　芳樹

2．職員

区　分	氏名及び役職	部　署
常　勤	柏木　登起（事務局長）	全体統括
	王　　茂厚（マネージャー）	まちづくりチーム
	大嶋　啓史（マネージャー）	ひとづくりチーム
	李　　貫一	ひとづくりチーム
	柏木　輝恵	ひとづくりチーム
	池田　泰憲	まちづくりチーム
	國友　留美子	ひとづくりチーム
	舟引　道之	まちづくりチーム
	阪口　　努	まちづくりチーム
	西川　亜希子	淡路担当スタッフ
	津田　裕昭	ひとづくりチーム
	七島　倫恵	ひとづくりチーム
	藤浦　廣信	まちづくりチーム

	神田　詠梨子	淡路担当スタッフ
	村本　　勝	淡路担当スタッフ
	岩本　順平	まちづくりチーム
非常勤	畠　　由美	まちづくりチーム
	鍛冶　秀郎	まちづくりチーム
	佐藤　和子	総務担当
	東　　美輪	まちづくりチーム
	朴木　哉子	まちづくりチーム
	鍋田　年康	ひとづくりチーム
	太田　めぐみ	まちづくりチーム
	森田　久子	まちづくりチーム